

# 中井だよい

中井やまゆり園

## 「ごあいさつ」

生活第二課長 染谷 弘子

4月に女性寮の課長として異動して参りました、染谷弘子と申します。

大学時代にボランティアサークルに所属しており、地域の知的障害のある子ども達と公園遊びやキャンプ等を行う活動をしていたことから、福祉関係の仕事を希望して県に入りました。どの職場も利用者さんとのやり取りは楽しかったですが、1番の思い出は2年目に担当した女性で自傷が激しく、いつも自分の右手で後頭部をバシバシ叩きながら声を出して歩き回り、私が声を掛けて関わろうとするとササッと慌てて逃げていた方です。そんな彼女が1年近く経ったある日、デイルームのベンチに座っていた私の膝の上に座ってきたのです。2秒くらいのことで私が手を回す前に離れてしまい、その後二度と同じことは起こりませんでした。面会の度に母親から叩かれており自分から人と関わる姿を見たことがなかったので、びっくりして嬉しくて、今でも何かある度にこの思い出に支えてもらっています。

自分が子育てをするようになって利用者さんへの接し方が変わった面もありました。愛情は100%を割っていくものではないということに初めて気がついたからです。我が家には子どもが3人いますが一人に注ぐ愛情が1/3にならないことを実感して、我ながら非常に驚いたことを今でも鮮明に覚えています。そして利用者さんは複数の中の一人ではなく、「一人ひとりの集まり」という見方ができるようになりました。

とはいえ、何で力加減なく自傷するのか？何で必要以上に攻撃的になるのか？そもそも一番困っているのは自傷せざるを得ない、あるいは攻撃的にならざるを得ない利用者ご本人だと理解は出来ても、その背景を想像することは難しいと思いました。そのような中、当園には「人となりシート」が定期的に更新されていることを知り、本人理解にとっても役立つそうだと思います。「人となりシート」の活用でその人好みの生活環境に近づけられないものかと思えます。

皆さんと一緒に笑ったり泣いたりしか出来ない単純な性格の私がこれから始まる当園改革の重要な時期に来てしまい、果たして大丈夫なのか？と心配ですが、皆さまのご指導の下、一人ひとりの利用者さんに合わせた地域との繋がり方、QOLを念頭に置いてチームの一員として頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。